

# 1. 評価結果概要表

**【評価実施概要】**

事業所番号	272100850		
法人名	有限会社都和		
事業所名	グループホーム白壽		
所在地 (電話番号)	〒038-3166 青森県つがる市木造福原印元61番地1 (電話) 0173-42-7032		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 11月 4日	評価確定日	平成 20年 12月 25日

**【情報提供票より】(平成20年10月27日事業所記入)**

**(1) 組織概要**

開設年月日	昭和(平成) 15年 9月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 7人, 非常勤 0人, 常勤換算	6.5人

**(2) 建物概要**

建物構造	木造平屋造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

**(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)**

家賃(平均月額)	6,000 円	その他の経費(月額)	冬期3,600 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			

**(4) 利用者の概要(10月27日現在)**

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名
要介護3	3 名	要介護4	0 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢 平均	87 歳	最低	80 歳
		最高	95 歳

**(5) 協力医療機関**

協力医療機関名	尾野病院、菊池歯科医院
---------	-------------

**【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】**

<p>共用空間は採光が良く非常に明るく、ソファーには、個人のクッションなどがあり居場所も確保されている。また居室には馴染みの物が多く持ち込まれ、ゆったりと過ごしやすい工夫されている。天候の良い日は畑で草取りをしたり、外出する機会を積極的に取り入れており職員と利用者の関係が和やかである。</p>
---

**【重点項目への取り組み状況】**

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回での改善点(食事を楽しむことのできる支援と災害対策)が今回も改善されていないものの、対応に対し現在話し合われているため今後の取り組みに期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価事業の具体的な意義を理解し、自己評価を職員全体で作成している。また、外部評価の結果を踏まえ、全員で改善、向上に向け積極的に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>ホ-ムに於けるケアの実際を報告し、参加者から意見要望を頂きサ-ビスの向上につなげている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>これまでに苦情は寄せられていないが、面会時や電話連絡時などに意見を言うていただけるように積極的に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>農村地区に位置しており、町内の回覧板がグループホームにも回ってくる。近隣の住民の方からは野菜などを頻りにいただいている。また、市の文化祭やお祭りなどに積極的に参加し、地域の一員となるように継続的に努めている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らせるような理念を作り上げている。また、環境や利用者の状況など変化した場合は随時、話し合いをもうけて理念を再検討している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月の職員会議で理念を再考察し、それに基づいた毎月の目標を作り取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	農村地区に位置しており、近隣の住民の方から野菜などを頻繁にいただいている。また、市の文化祭やお祭りなどに積極的に参加し、地域の一員となるように継続的に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回の評価内容を全職員で話し合い、可能な限り改善に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>家族・民生委員・近所の市議会議員が参加して開催している。会議での意見は取り入れるように努めている。</p>		<p>行政担当者の参加が得られるよう引き続き働きかけてもらいたい。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の社会福祉協議会とは、入所申込や施設見学などで連携を図っている。</p>		<p>市町村担当者とも連携を図れるよう引き続き働きかけてもらいたい。</p>
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>必要時活用出来るように所定の場所に資料を配置している。また職員も内容を職員会議で研修参加者より説明を受けている</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>必要時活用出来るように所定の場所に資料を配置している。また職員も具体的な行為を理解しており特に言葉掛けに注意している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分な説明を行い家族より理解を受けている。また追加となった契約内容も遅滞なく家族と契約を結んでいる。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>通院前後に家族へ状況を報告している。また毎月ホーム便りを家族へ送り近況報告も行われている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族からの意見はなかなか出てこないが、意見箱を設置したり、面会時や電話連絡時などに「なにかありましたら、どの職員でも構わないのでお知らせ下さい」と伝えたり、意見を言っていたら積極的に取り組んでいる。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職がある時は引き継ぎを行うことにより、利用者へのダメージを防ぐよう配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修に年1回は全職員が参加出来るように企画している。また資格取得を希望する職員へは業務を調整し資格取得のための研修へ参加してもらっている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者と随時連携を図り利用者の状況変化に対応出来るように努めている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者がホームに来て生活しても不安にならぬように、馴染みの家具や日用品などを可能な限り持込でいただき、生活の場として馴染みやすい環境を作りをしている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の過ぎてきた思い出をコミュニケーションの中から引き出し、利用者の意見が反映されるようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常的に意向を把握出来るように利用者に関わっており、個々の希望に沿えるように取り組んでいる。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>担当職員が利用者や家族との日々の関わりからアイデアや意向を汲んだ計画案を作成し、それを基に職員間で話し合い計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>基本的には3ヶ月に1回の見直しを行っているがその間に状況変化が現れた場合は随時カンファレンスを行い対応している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>随時の外出や家族の協力を得ての外出など、要望を最大限尊重できるように努力している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医との関係を大切に、入居後もかかりつけ医への受診をしている利用者もいる。また協力医療機関と連携を図り緊急時など即応していただけるように支援している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居契約時に家族・本人の意向や希望を確認し随時状況を主治医を含めた担当者から報告し、意向に沿った方向で対応するように努めている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄介助の誘導時など、リビングにいる利用者に声掛けする場合は他利用者に配慮し、さりげない声掛けをするようにしている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間の目安は決まっているのだが、朝起きれない利用者には別に取っておき、起床してから食べてもらうようにするなど、利用者の生活リズムを尊重している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の嗜好を組んだ献立を作ったりまた、準備段階から協力してもらったりすることもある。職員のうち1名は一緒に食事をして楽しい雰囲気を作り出すように取り組んでいる。		テーブルに同席しないで後ろや周りに立って見守っている職員が居るので、なんとなく圧迫感を感じる。できれば一緒に食事を取らないまでも、テーブルに同席して会話しながら見守りを行うなどホームで可能な方法の検討を期待する。
26	54	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は設けているが、それ以外に入浴の希望があった時は随時対応できる体制を整え、支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	農家で過してきた方が多く入所されており、畑仕事など積極的に取り組めるように近くに畑を準備して農作業を共同して行っている。また食事の準備などでも自分では出来ないと言いながらもいろいろ職員に指導しながら一緒に調理をしている。		
28	58	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	昼食や買い物など、利用者から希望があれば勤務状況に合わせて外出支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	職員は身体拘束について理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	日中は玄関は開放されており、いつでも出入りできる様になっている。		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	緊急連絡網や年間計画に消防訓練を組み込み対策を講じている。		地域住民と交流は図れているが、災害時の協力体制がまだ未整備となっているので今後の体制作りを期待する。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	栄養士が配置されており、バランスの取れた献立を基に食事提供をしている。また、体調などにより摂取量の確認が必要な方の摂取量は、個人記録に記載し確認している。		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	感染予防マニュアルがあり、全職員が随時対応出来るようにいつでも見れる場所におかれてある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間は採光が良く、非常に明るい。またリビングとキッチンが隣合っており調理した音や香りが感じられ生活感がある。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時本人の使い慣れた家具や配偶者の位牌などを持ち込んでおり、家具の配置も使いやすく配置され過しやすい環境に工夫されている。</p>		

 は、重点項目。